

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アコーディア・ゴルフ
 コード番号 2131 URL <http://www.accordiagolf.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田隆介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 鈴木隆文
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日

TEL 03-6688-1506
 平成26年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	41,319	△15.6	4,870	△33.5	738	△88.4	3,990	27.5
26年3月期第2四半期	48,930	2.4	7,319	3.5	6,387	0.5	3,130	△14.8

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 3,918百万円 (25.1%) 26年3月期第2四半期 3,130百万円 (△14.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	40.97	—
26年3月期第2四半期	30.50	—

(注) 1. 当社は、平成25年5月20日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

2. 26年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、27年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	158,334	45,434	28.6
26年3月期	262,961	92,202	35.0

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 45,310百万円 26年3月期 92,068百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	56.00	56.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	36.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,200	△30.2	8,000	△34.7	4,000	△61.2	5,800	25.6	69.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 株式会社アコーディアAH11・株式会社アコーディアAH12
、 除外 2社 (社名) アコーディアAH12
(注)詳細は、添付資料 P.11「企業結合等」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	105,398,700 株	26年3月期	105,398,700 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	34,894,000 株	26年3月期	2,751,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	97,378,343 株	26年3月期2Q	102,647,700 株

(注)当社は、平成25年5月20日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、詳細は、【添付資料】「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(企業結合等)	11
4. 補足情報	
(1) 生産・受注及び販売の状況	14

【添付資料】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は「アベノミクス」と呼ばれる金融緩和や景気対策などによって、景気は穏やかな回復基調を続けていますが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動および、円安の進行に伴う輸入原材料価格の値上がりなど不透明要因が生じています。

当企業グループが属するゴルフ業界は、景気回復に対する期待感の高まりを背景として、春先は穏やかな天候が続いたため、プレー需要は総じて安定して推移した一方、6月以降に生じた集中豪雨などによる営業日数の減少に伴い、入場者数は伸び悩みました。

このような状況の下、当企業グループは、ゴルフ場の集客に取り組む一方、2017年3月期（平成28年度）を最終年度とする新中期経営計画における基本戦略（「循環型ビジネス・モデルによるキャピタルゲイン創出」「運営受託事業拡大による安定的キャッシュ創出」）を進め、以下の経営施策に取り組みました。

(ビジネス・トラストによるアセットライト取引等及び自己株式取得の実施)

当社は、当社の経営課題であった資産効率の改善等を目的として、平成26年8月1日、ビジネス・トラストによるアセットライトに関する取引を実施し、これに伴い、シンガポールで組成されたビジネス・トラストであるアコーディア・ゴルフ・トラスト（以下、「AGトラスト」といいます。）の発行する出資証券（ユニット）は、同日付で、シンガポール証券取引所に上場されました。

また、当社は、ビジネス・トラストによるアセットライトに伴い、90コースのゴルフ場（付随する施設等を含みます。）に係る運営事業の譲渡の対価および既存貸付金等の回収金として、合計で、約1,132億円（このうち、当社が取得したビジネス・トラストのユニット（発行された全ユニットの28.85%）に係る金額約253億円については、相殺処理を行ったため、当社による現金の受領はありません。）を受領いたしました。

さらに、当社は、資本効率の改善およびこれに伴う株主資本利益率（ROE）の上昇等を目的として、公開買付期間を平成26年8月5日から同年9月1日とする自己株式の公開買付けを実施し、ビジネス・トラストによるアセットライトを通じて受領した資金の一部等をもって、同年9月29日にその決済を完了いたしました。

(ゴルフ場運営事業)

お客様にリーズナブルな価格で価値のある商品・サービスを気軽に楽しんでもいただける仕組みの構築を進めると共に、ゴルフ場ブランドや当社独自のポイントプログラム、直営・提携練習場との連携強化などお客様の集客策などを進めました。当第2四半期連結累計期間におけるゴルフ場入場者数（当企業グループの保有コースおよび運営受託契約を締結しているゴルフ場の入場者数）は、437万人（前年同期間比5万人増加）となりました。

(ゴルフ場の取得とゴルフ場ポートフォリオの最適化)

数年前から進めている優良なゴルフ場を大都市圏に集約し収益基盤を強化するゴルフ場ポートフォリオ戦略に基づき、良好なゴルフ場取得案件に対して、当第2四半期連結累計期間は、ゴルフ場1コース（京都府）の取得契約を締結いたしました。なお、当第2四半期連結累計期間末現在の運営ゴルフ場数は136コース（保有43コース、ゴルフ場の運営に係る契約を締結コース数は93コース）となりました。

(ゴルフ練習場運営事業)

スクール運営の積極展開やゴルフ練習場主催のゴルフコンペ開催など当社ゴルフ場との相乗効果を強化いたしました。また、4月にアコーディア・ガーデン福岡を開業する一方、収益の向上が望みにくい施設を太陽光発電所の建設を目的として営業終了とした結果、当第2四半期連結累計期間末現在の運営ゴルフ練習場数は25ヶ所となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、当社が実施したビジネス・トラストによるアセットライトに伴い、当企業グループが保有していたゴルフ場133コースのうち90コースの運営事業を譲渡したことで、営業収益が、前第2四半期連結累計期間と比較し(以下対前年同期比という)7,610,781千円(15.6%)減少の41,319,676千円となりました。営業利益は、営業収益減少の影響を受けたこと、また本施策実施にかかった費用が発生したものの、90コースの運営事業譲渡によって営業費用が減少したこと及びグループ全体でコスト削減の取組みを行ったこと等により、対前年同期比2,448,338千円(33.5%)減少の4,870,742千円となりました。経常利益は、新規借入に伴いシンジケートローン手数料が721,750千円増加したこと及びシンガポールで組成されたビジネス・トラストであるAGトラストを持分法で連結範囲に含めたことにより持分法による投資損失が2,155,483千円増加したこと等で対前年同期比5,649,352千円(88.4%)減少の738,098千円となりました。四半期純利益は、AGアセット対象ゴルフ場90コースを保有する当社子会社の株式を匿名組合出資として現物出資し、その匿名組合出資持分を譲渡したこと等により発生した関係会社株式売却益6,180,783千円を主因として、当第2四半期連結対前年同期比859,501千円(27.5%)増加の3,990,292千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して104,626,405千円減少し158,334,897千円となりました。減少の主な内容は、AGトラストがシンガポールにて上場した際、そのユニットを取得したこと等により投資有価証券が20,605,954千円増加したものの、当企業グループが保有していたゴルフ場133コースのうち90コースを譲渡したこと等により、有形固定資産が119,366,078千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して57,858,541千円減少し112,900,141千円となりました。減少の主な内容は、弁済により短期借入金、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金合計が11,024,957千円減少したこと、社債の償還期限到来により一年内償還予定の社債が15,000,000千円減少したこと及び90コースを譲渡したこと等により入会保証金が15,462,182千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して46,767,863千円減少し45,434,755千円となりました。減少の主な内容は、新株予約権を有償発行したことにより新株予約権が140,424千円発生したものの、当第2四半期連結累計期間に自己株式の公開買付を行ったことにより、自己株式が45,000,200千円増加したこと、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益3,990,292千円と利益剰余金からの配当5,748,271千円を差し引き利益剰余金が1,757,979千円減少したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期間末と比較して650,001千円増加し5,919,531千円となりました。

各活動別のキャッシュ・フローの状況につきましては以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は、10,914,662千円となりました。前第2四半期連結累計期間において営業活動により得た資金は4,808,376千円であったため前第2四半期連結累計期間と比較して15,723,038千円の減少となりました。減少の主な内容は、税金等調整前当期純利益が478,887千円増加したものの、アセットライト施策により発生した関係会社株式売却益6,180,783千円が営業活動から除外されること、及び子会社からの配当に伴い源泉税納付が発生したことを主因として法人税等の支払額が10,295,471千円増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により得られた資金は85,351,664千円となりました。前第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、2,427,935千円であったため前第2四半期連結累計期間と比較して87,779,600千円の増加となりました。増加の主な内容は、アセットライト施策を主因として連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入が87,521,825千円増加したこと等によるものであります。

なお、ビジネス・トラストのユニットを取得した対価25,357,232千円については、当該収入より相殺されているため入金額により表示しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は、前第2四半期連結累計期間と比較して70,177,863千円増加し73,112,310千円となりました。増加の主な内容は、長期借入れによる収入が47,298,000千円増加したものの、長期借入金の返済による支出が55,931,446千円増加したこと、償還期限が到来したことによる社債の償還による支出が15,000,000千円あったこと、自己株式の公開買付により自己株式の取得による支出が45,000,200千円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は、平成26年10月31日発表の「業績予想の修正」の計画通り概ね順調に推移しており、連結業績予想の修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において当社は、ビジネス・トラストによるアセットライトを実施するにともない、当社の特定子会社であった㈱アコーディアAH11及び㈱アコーディアAH12の発行済株式の全部を、アコーディア・ゴルフ・アセット合同会社との匿名組合契約に対し現物出資をおこない、その後当該匿名契約をAccordia Golf Trustに譲渡いたしました。この結果、株式会社アコーディアAH11、株式会社アコーディアAH12は、当社の子会社ではなくなりました。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,656,540	5,932,031
営業未収入金	5,254,651	2,335,885
商品	2,264,100	2,049,490
原材料及び貯蔵品	360,198	161,140
その他	7,569,327	11,362,515
貸倒引当金	△673,441	△158,542
流動資産合計	19,431,376	21,682,521
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	42,695,261	20,528,051
ゴルフコース	110,241,730	41,906,085
土地	53,448,349	28,479,569
その他(純額)	8,378,950	4,484,506
有形固定資産合計	214,764,291	95,398,212
無形固定資産		
のれん	21,128,388	9,557,476
その他	4,740,475	2,724,138
無形固定資産合計	25,868,864	12,281,614
投資その他の資産		
投資有価証券	47,591	20,653,545
長期貸付金	49,428	542,428
その他	3,105,032	8,078,356
貸倒引当金	△305,282	△301,782
投資その他の資産合計	2,896,770	28,972,547
固定資産合計	243,529,926	136,652,375
資産合計	262,961,302	158,334,897

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,110,713	2,089,083
短期借入金	12,704,000	5,100,000
コマーシャル・ペーパー	2,998,799	4,997,793
1年内返済予定の長期借入金	9,363,135	10,573,504
1年内償還予定の社債	15,000,000	-
未払法人税等	4,112,579	648,264
引当金	1,786,652	1,789,930
その他	13,794,499	5,822,569
流動負債合計	61,870,379	31,021,146
固定負債		
長期借入金	60,817,134	56,185,808
入会保証金	24,847,809	9,385,627
その他	23,223,358	16,307,559
固定負債合計	108,888,303	81,878,995
負債合計	170,758,683	112,900,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,940,982	10,940,982
資本剰余金	20,622,481	20,622,481
利益剰余金	62,505,199	60,747,220
自己株式	△1,999,977	△47,000,177
株主資本合計	92,068,687	45,310,508
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	-	△84,983
その他の包括利益累計額合計	-	△84,983
新株予約権	-	140,424
少数株主持分	133,932	68,806
純資産合計	92,202,619	45,434,755
負債純資産合計	262,961,302	158,334,897

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業収益	48,930,457	41,319,676
営業費用		
事業費	39,786,751	33,192,977
販売費及び一般管理費	1,824,626	3,255,956
営業費用合計	41,611,377	36,448,933
営業利益	7,319,080	4,870,742
営業外収益		
受取利息	352	7,351
受取賃貸料	32,231	31,260
利用税等報奨金	35,699	30,320
その他	82,656	46,121
営業外収益合計	150,939	115,053
営業外費用		
支払利息	748,631	734,042
投資有価証券売却損	13,952	-
持分法による投資損失	3,285	2,158,768
シンジケートローン手数料	74,500	796,250
その他	242,199	558,634
営業外費用合計	1,082,568	4,247,696
経常利益	6,387,451	738,098
特別利益		
固定資産売却益	96,689	3,781
保険差益	101,621	108,445
関係会社株式売却益	25,381	6,180,783
受取補償金	4,983	123,015
債務免除益	44,913	34,403
特別利益合計	273,588	6,450,428
特別損失		
固定資産除売却損	16,578	26,008
災害による損失	54,616	95,136
その他	1,349	-
特別損失合計	72,544	121,144
税金等調整前四半期純利益	6,588,495	7,067,383
法人税、住民税及び事業税	2,136,841	6,498,797
法人税等調整額	1,320,863	△3,434,466
法人税等合計	3,457,705	3,064,330
少数株主損益調整前四半期純利益	3,130,790	4,003,052
少数株主利益	-	12,760
四半期純利益	3,130,790	3,990,292

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,130,790	4,003,052
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△84,983
その他の包括利益合計	-	△84,983
四半期包括利益	3,130,790	3,918,068
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,130,790	3,905,308
少数株主に係る四半期包括利益	-	12,760

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,588,495	7,067,383
減価償却費	2,770,195	2,347,446
のれん償却額	1,270,311	1,074,288
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,451	△12,688
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,842	△111,646
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△29,550	△78,668
株主優待引当金の増減額(△は減少)	242,184	304,979
受取利息	△352	△7,351
支払利息	748,631	734,042
持分法による投資損益(△は益)	3,285	2,158,768
固定資産除売却損益(△は益)	△80,110	22,227
関係会社株式売却損益(△は益)	△25,381	△6,180,783
売上債権の増減額(△は増加)	519,516	△7,339
仕入債務の増減額(△は減少)	462,508	760,031
未払金の増減額(△は減少)	△652,477	△2,343,834
前受収益の増減額(△は減少)	△3,264,129	△2,375,725
その他	△650,190	△894,087
小計	7,884,643	2,457,042
利息の受取額	350	1,127
利息の支払額	△744,130	△744,873
法人税等の支払額	△2,332,487	△12,627,958
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,808,376	△10,914,662
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,366,056	△1,629,554
有形固定資産の売却による収入	131,634	46,191
無形固定資産の取得による支出	△127,382	△67,800
子会社株式の取得による支出	-	△150,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△16,072	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	126,488	87,648,314
短期貸付金の増減額(△は増加)	10	13,870
長期貸付けによる支出	-	△500,000
民事再生会社へのスポンサー拠出金の支払いによる支出	△113,200	-
その他	△63,357	△9,357
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,427,935	85,351,664

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,070,000	△7,604,000
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	△6,541	1,984,348
長期借入れによる収入	11,202,000	58,500,000
長期借入金の返済による支出	△5,989,511	△61,920,957
社債の償還による支出	-	△15,000,000
自己株式の取得による支出	-	△45,000,200
配当金の支払額	△5,626,151	△5,727,436
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△901,646	△793,103
セール・アンド・リースバックによる収入	1,527,522	2,393,047
少数株主への配当金の支払額	-	△26,496
長期預り金の返還による支出	△70,118	△57,936
新株予約権の発行による収入	-	140,424
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,934,447	△73,112,310
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△554,007	1,324,691
現金及び現金同等物の期首残高	5,823,537	4,594,840
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,269,530	5,919,531

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年8月4日開催の取締役会決議に基づき、公開買付で自己株式32,142,900株の取得を行いました。これを主因として、当第2四半期連結累計期間において自己株式が45,000,200千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が47,000,177千円となっております。

これを主な要因として、当第2四半期連結累計期間末における株主資本は、前連結会計年度末と比較して46,758,179千円減少しております。

(企業結合等)

共通支配下の取引等

(1) 取引の概要

① 対象となった企業の名称及びその事業の内容

事業の名称：当社の連結子会社である株式会社アコーディアAH11、株式会社アコーディアAH12及び株式会社アコーディアAH36の一部のゴルフ場事業

事業の内容：ゴルフ場経営

② 企業結合日：平成26年7月31日

③ 企業結合の法的形式

株式会社アコーディアAH11（当社の連結子会社）を分割会社、株式会社アコーディアAH01（当社の連結子会社）を承継会社とする吸収分割

株式会社アコーディアAH12（当社の連結子会社）を分割会社、株式会社アコーディアAH02（当社の連結子会社）を承継会社とする吸収分割

株式会社アコーディアAH36（当社の連結子会社）を分割会社、株式会社アコーディアAH03（当社の連結子会社）を承継会社とする吸収分割

④ 結合後企業の名称

株式会社アコーディアAH01

株式会社アコーディアAH02

株式会社アコーディアAH03

⑤ その他取引の概要に関する事項

アセットライト実施に伴い、当社子会社のうち、ビジネス・トラスト対象ゴルフ場を保有する子会社（以下「BT対象ゴルフ場保有会社」）と対象外ゴルフ場を保有する子会社とに分割し、BT対象ゴルフ場保有会社が保有する孫会社の株式全部を当社へ譲渡した後に、BT対象ゴルフ場保有会社の株式を匿名組合出資として、現物出資を行うことを目的としております。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日公表分）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

事業分離

(子会社株式の譲渡)

(1) 事業分離の概要

① 分離先企業の名称

アコーディア・ゴルフ・アセット合同会社

② 分離した事業の内容

子会社：株式会社アコーディアAH11、株式会社アコーディアAH12、株式会社アコーディアAH03

事業の内容：ゴルフ場経営

③ 事業分離を行った主な理由

当企業グループはこれまで、積極的なゴルフ場の取得を行い日本最大のゴルフ場保有会社として日本のゴルフ業界をリードしてまいりました。ゴルフ場 M&A 市場が回復基調にある昨今においては、次なるステージとして、ビジネス・トラストによるアセットライト施策を通じて資産の効率化による成長余力を高め、譲渡先より運營業務を受託することにより運営受託収入の拡充を図るという循環型のビジネスモデルでの成長を目指し、当社子会社株式の一部をアコーディア・ゴルフ・アセット合同会社に譲渡することといたしました。

④ 事業分離日（株式譲渡日）

平成26年8月1日

⑤ 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡

(2) 実施した会計処理の概要

① 移転損益の金額

関係会社株式売却益 6,178,068千円

② 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	59,462,802	千円
固定資産	132,979,436	千円
資産合計	192,442,239	千円
流動負債	63,581,094	千円
固定負債	66,827,671	千円
負債合計	130,408,765	千円

③ 会計処理

株式譲渡したことにより受け取った対価となる財産の時価と、譲渡した子会社に係る株主資本相当額との差額を移転差益として認識している。

(3) 分離した事業が含まれていた報告セグメント

ゴルフ事業

- (4) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

	累計期間
営業収益	19,441,847 千円
営業利益	3,099,483 千円

- (5) 継続的関与の概要

アコーディア・ゴルフ・アセット合同会社と経営管理委託契約を締結しております。

4. 補足情報

(1) 生産・受注及び販売の状況

生産実績

当企業グループは、ゴルフ事業が主要な事業であるため、該当事項はありません。

なお、当企業グループの事業は、ゴルフ事業及びこれに付帯する業務の単一事業であり、また、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店等がないため、セグメント情報は作成していませんので、売上区分別の金額を記載しております。(以下、「販売実績」まで同じ)

仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績を示すと、次のとおりであります。

売上区分	仕入高(千円)	対前年同四半期増減率(%)
商品(ゴルフ用品等)	1,461,275	△5.9
原材料等(レストラン)	2,501,970	△23.3
合計	3,963,246	△17.7

(注) 1 金額は、仕入価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 ゴルフは屋外スポーツであり、当企業グループの仕入高は、気候が穏やかな春・秋に該当する第1四半期および第3四半期に高く、気候の厳しい夏・冬に該当する第2四半期および第4四半期に低くなる傾向があります。

受注実績

当企業グループは、ゴルフ事業が主要な事業であるため、該当事項はありません。

販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を売上区分別に示すと、次のとおりであります。

売上区分	販売高(千円)	対前年同四半期増減率(%)
ゴルフ場運営	26,753,873	△18.5
レストラン	8,796,912	△18.8
ゴルフ用品販売	2,248,173	5.3
その他	3,520,716	12.1
合計	41,319,676	△15.6

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 ゴルフは屋外スポーツであり、当企業グループの販売高は、気候が穏やかな春・秋に該当する第1四半期および第3四半期に高く、気候の厳しい夏・冬に該当する第2四半期および第4四半期に低くなる傾向があります。